

サテライトシンポジウム

『日常診療における自然療法の実際』

「自然療法」の原理は一般に以下の7つに表現されます。1.自然の治癒力 2.身体になるべく侵襲をあたえない 3.原因を探求 4.全人的治療 5.予防的医療 6.心身の健康 7.医師は教師。すなわち、手術や投薬によって治療する"現代西洋医学"を実践するのはもちろん基本ですが、慢性的な病態、生活習慣と切り離せないストレスや心理的な問題を抱える方、長期的に体の不調を感じる方などに対し、患者さんと一緒になってケアし改善してゆくという点が、自然療法の大きな特徴です。その中で医療現場に取り入れることができるものは、エビデンスがしっかりした療法であることが不可欠になります。私たちは様々な自然療法の中から、すでに実践している先生方を交えて討論し、明日の日常診療にすぐ応用できる自然療法を確立させるために、『日本臨床自然療法研究会』を立ち上げました。研究会には、開業されている先生方をはじめ医療従事者の方が多く参加されています。

今回、日本補完代替医療学会のご協力のもと、本学術集会の中でのサテライトシンポジウムとして、第14回研究会を共催させていただき運びとなりました。この機会に、ぜひ、実践的な自然療法の内容をお聴きして頂きたいと思っています。そしてもしこの会の趣旨にご賛同いただけたなら、今後は、メンバーとしてのご参加も、心よりお待ちしております。

プログラム

13:15-13:30: 日常診療における自然療法の実践のすすめ	伊藤 まゆ
13:30-13:45: アーユルヴェーダ: シローダーラー (滴油療法) の実際	上馬場和夫
13:45-14:00: ヨーガ療法外来の実践	平田 章二
14:00-14:15: アロマセラピー外来の実際①	伊藤 まゆ
14:15-14:30: アロマセラピー外来の実際②	樫尾 恵子
14:30-14:45: スポーツ外来とアスタキサンチン	栗屋 透
14:45-15:00: 女性外来とピクノジェノール	松村 圭子
15:00-15:15: 消化器外科医から見たL. ロイテリ菌	樋脇 一久
15:15-15:30: 高濃度ビタミンC点滴療法	平良 茂
15:30-16:00: 自然療法におけるEBMの集積	鈴木 信孝

日本臨床自然療法研究会の歴史

日本自然療法研究会 <http://www.cfir.jp/> 設立：2007年8月

会長 伊藤まゆ（M'sクリニック南麻布 院長）、副会長 粟屋透（たま循環器科・内科 院長）

幹事 平良茂（ハートフルクリニック 院長）、学術顧問 鈴木信孝（金沢大学）、上馬場和夫（富山大学）

アドバイザー 自然療法医 ジェフ・ストロング（金沢大学客員准教授）

これまでの活動内容から：

1. ピクノジェノールの臨床報告
2. がんの補完代替医療の現状と問題点
3. 緑茶カテキンの機能と臨床への試み
4. 日本補完代替医療学会を通して見た、補完代替医療の展望
5. 機能性素材総論：ビタミン
6. 緑茶に含まれるユニークなアミノ酸、テアニンの機能
7. 心理学・行動科学から学ぶコミュニケーション ～患者さんとの信頼関係構築とモチベーション～
8. コエンザイム Q10 の最新情報について
9. CoQ10 とミトコンドリア、ハートフルクリニックの統合医療&アンチエイジング医療
10. 医薬品とサプリメント、製品開発の違い
11. 健康支援科の位置付けとビタミン外来の理論とその実践
12. 誰も教えなかった医療現場で役立つメタボ特保の重要知識 ～いよいよ始まる特定健診にあわせてメタボ特保の臨床応用に迫る～
13. メタボリックシンドロームに対するアスタキサンチンの可能性～過酸化脂質の抑制および筋肉の持久力の向上～
14. ドーピングの基礎知識～知らないではすまない、サプリメントとドーピングの関係～
15. 協和アガリクス茸抽出液、低分子成分の有用性 ～マウス抗腫瘍活性及びヒト臨床試験報告～
16. サプリメントとホルモン補充療法：その1 予防医学の観点からのサプリメントやホルモン補充療法の必要性 ～投与前検査について～
17. α リポ酸の最新動向、研究報告
18. サプリメントとホルモン補充療法その2

問い合わせ先：日本臨床自然療法研究会 info@cfir.jp

共催：日本臨床自然療法研究会